

(6) 高校3年～ グローバル発展「キャリアパス探究」

①「キャリアパス探究」

a 目的 2年間取り組んできた、「地域課題研究」、「異文化研究」についてまとめ、卒業後、大学等で引き続き追究したい内容について考え、自分の進路に関して「英語で宣言文」を作成することを通して英語力を高めながら考えを深める。

b 対象 高3全生徒

c 研究の方法

担当の指導を受けながら、以下のStageの順に作業を進める。

Stage1 1, 2年次の課題研究のまとめ：2年間の取組を整理する。
 Stage2 「学びの計画書」の作成：Stage1を元に高校卒業後の自分の学びの計画を立てる。
 Stage3 「シンカ宣言」の作成（英文で提出）
 : 3年間の学びを踏まえ、「将来自分はこうありたい」という思いを英語で宣言する。

4月：「キャリアパス探究」に関する説明、Stage1 開始。

5月：Stage1, Stage2、指導教員との個別面談

6月：Stage2、Stage3の日本語版を進める。指導教員との個別面談

7月：Stage3英語版作成。

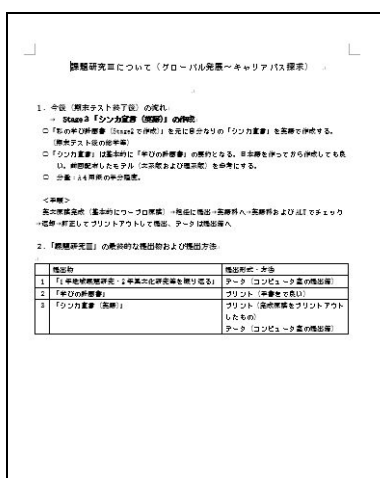
8月：英語科による添削指導。

9月：Stage3の完成、提出。

d 取組状況

入学以来2年間取り組んできた課題研究のダイジェストを、「わたしの学び計画書」及び「わたしの学び計画書」（それぞれA4用紙1枚。日本語）にまとめ、両者を統合したものを「わたしのシンカ宣言」（A4用紙1枚。大学以降の探究、そして自らの人生、生き方につなげ、宣言文を英語で書く）にまとめた。

本活動の目的は、これまで取り組んできた課題研究を振り返り、SDGs（持続可能な開発目標）の解決に向けて自分の何が生かせるか、どう貢献していきたいか。自分のキャリアパスを考えることにある。1月の生徒アンケートでは、佐高の伸ばしたい6の力のうち⑥「グローバル社会に貢献する高い志」が高1時 54.7% → 高2時 62.9% → 高3時に 78.9%と、特に高3段階になって伸びており、本活動の有用性が示されている。



図表1 29年度入学生 肯定的な回答の割合 (%) の推移 (回答数 143)

佐高SGHが伸ばしたい6つの力	高1	高2	高3	3年間の伸び率
	2018.2月	2019.2月	2020.1月	
①課題を発見し向き合う力	66.4	→ 76.0	→ 85.7	+19.3
②論理的・批判的に思考する力	68.4	→ 74.3	→ 81.0	+12.6
③協働して課題を解決する力	71.1	→ 77.7	→ 83.8	+12.7
④情報を発信する力	73.6	→ 73.7	→ 85.2	+11.6
⑤英語で伝える力	42.6	→ 39.9	→ 45.0	+2.4
⑥グローバル社会に貢献する高い志	54.7	→ 62.9	→ 78.9	+24.2

⑥が、特に高3時に急伸していることが分かる。